

# 第8回 ESD大賞 募集要項

## —Education For Sustainable Development Award—

Education For Sustainable Development (ESD) は、「持続可能な社会の担い手を育む」教育といわれています。持続可能な社会の構築に向けて的確な行動ができる次代を担う人材の育成が重要な課題となっています。

その人材育成のためには、ESD（持続可能な開発のための教育）が学校現場において正しく理解され、さらにそれに基づいた望ましい実践が普及されることが強く求められています。

NPO法人日本持続発展教育推進フォーラムでは、このESDの理念に基づく取り組みを積極的に実践する学校を奨励する「ESD大賞」を毎年実施しています。学校全体での取り組み、地域社会とのつながり、地域の特色を活かした実践例などを広く募集いたします。

ESDに取り組む学校がますます増加していることをふまえ、今年は、新たに2賞を設けることといたしました。

下記募集要項をよくお読みの上、奮ってご応募ください。

**[主 催]** NPO 法人日本持続発展教育推進フォーラム

**[後 援(予定)]** 文部科学省、日本ユネスコ国内委員会、(株)教育新聞社、  
(公財) ユネスコ・アジア文化センター、(公社) 日本ユネスコ協会連盟

### **[中央審査委員]**

NPO 法人日本持続発展教育推進フォーラム 理事

佐野金吾（元全日本中学校長会会長、一般社団法人全国図書教材協議会会長）

北 俊夫（国土舘大学教授）

木曾 功（元ユネスコ政府代表部特命全権大使）

田村哲夫（前日本ユネスコ国内委員会会長、学校法人渋谷教育学園理事長）

濱野 清（国立教育政策研究所教育課程調査官）

齋藤英行（株式会社教育新聞社社長）

岡山慶子（朝日エルグループ会長）

文部科学省 国際統括官付

### **[募集内容と実践研究対象]**

「ESD大賞」設定の趣旨に基づいて、持続可能な社会の構築に向けて的確な行動ができる次代を担う人材を育てる実践研究事例の報告を募ります。

### **○実践研究の対象**

小学校、中学校、高等学校における ESD の実践事例報告であること。

- ① ESD の全体計画や年間指導計画の作成、または改善及び評価に関わる実践研究。
- ② 各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間に関わる ESD の実践研究。
- ③ 学校経営、学年経営、学級経営に関わる ESD の実践研究。
- ④ 学級活動、児童会・生徒会活動、クラブ・部活動、学校行事に関わる ESD の実践研究。
- ⑤ ESD における教材・教具の工夫や開発についての実践研究。
- ⑥ ESD における家庭、地域社会、行政、民間企業、関連する諸機関との連携に関する実践研究。
- ⑦ ユネスコスクールへの登録申請を検討している。

### **[対 象]**

全国の小学校、中学校、高等学校を対象とします。

## [顕彰]

応募いただいた事例の中から、中央審査委員の厳正な審査によって、優秀な事例を下記の通り顕彰いたします。(応募フォーマットは、すべての賞共通です)

<u>・文部科学大臣大賞</u>	<u>1校(すべての校種を対象)</u>
・ユネスコスクール最優秀賞	1校(ユネスコスクールのみ対象)
・小学校賞	1校
・中学校賞	1校
・高等学校賞	1校
*ベスト・アクティビティ賞	1校
*スタートアップ賞	1校(ユネスコスクール加盟3年未満のみ)
・ネスレ日本ヘルシーキッズ賞	2校(小学校のみを対象、副賞10万円)

※企業特別賞：ネスレ日本ヘルシーキッズ賞の詳細は、4ページをご確認ください。

### \*「ベスト・アクティビティ賞」とは

学校や地域の特性を生かしたオリジナリティのある活動、他の学校にも生かせるアイデアに富んだ取組を(一つでも)行っている学校に対して賞を贈ります。学校全体・教科横断等の広がりはこれから、という学校でも積極的にご応募ください。

### \*「スタートアップ賞」とは

ユネスコスクール加盟3年未満(加盟していない学校を含む)の学校のみを対象とします。現在の成果や実績よりも、活動内容や今後への期待を評価の重点ポイントとします。

## [応募方法]

※今年度より、応募フォーマットの形式が変更となりましたのでご注意ください。

- 1) 応募フォーマット(すべての賞共通)に必要な事項を記入してください。
- 2) 実践研究の内容やねらいがわかる資料(年間指導計画、学習指導案、教材、活動写真)を同封してください。ただし、A4判で5頁以内とします。
- 3) 上記資料をE-mail、郵送(CD-R等)のいずれかでお送りください。応募資料は返却致しません。

## [資料送付先・事務局]

NPO 法人日本持続発展教育推進フォーラム ESD 大賞 事務局 担当：高木・角田  
〒104-0045 東京都中央区築地 2-12-10 築地 MF ビル 26 号館 5 階  
TEL：03-3545-3651 FAX：03-5565-4914 e-mail:info@jp-esd.org

## [スケジュール(予定)]

9月29日(金) 〆切(事務局必着)

↓審査

11月上旬 発表は、事務局から受賞校へのご連絡をもって代えさせていただきます

↓

12月2日(土) 第9回ユネスコスクール全国大会/ESD 研究大会にて授賞式を行います

## [教材の作成と配布]

受賞校には、実践研究事例の詳細を執筆していただき（B5判で各校3～5頁）、冊子にまとめ、ESDの優れた教材として、ユネスコスクールをはじめ、ESDに興味をもつ学校に配布する予定です。

## [第7回 ESD 大賞受賞校とテーマ]

文部科学大臣賞	岡山県立和気閑谷高等学校	「怨」の精神を備えたグローバル人材育成プログラム
ユネスコスクール最優秀賞	宮城県気仙沼市立唐桑小学校	未来につなげよう！豊かな海を！～カキ養殖体験を中心とした取組を通じて～
小学校賞	岡山県岡山市立第三藤田小学校	「人・社会・自然などと自分とのつながりに関心を持ち、主体的に関わろうとする子どもの育成」
中学校賞	東京都多摩市立東愛宕中学校	地域の核となる学校を目指して
高等学校賞	渋谷教育学園渋谷中学高等学校	自ら調べ、考え、行動し、発信する授業
審査委員特別賞	群馬県立利根実業高等学校	専門高校としてのESD活動への取組
ネスレ日本 ヘルシーキッズ賞	宮城県立気仙沼市立面瀬小学校	「海と生きる 気仙沼」魚食の魅力を学ぶ～地域・専門機関と連携した産業と食の学習～

※各校の実践事例の詳細は、[http://www.jp-esd.org/img/ESD-jissen\\_7\\_web.pdf](http://www.jp-esd.org/img/ESD-jissen_7_web.pdf)からご覧いただけます。

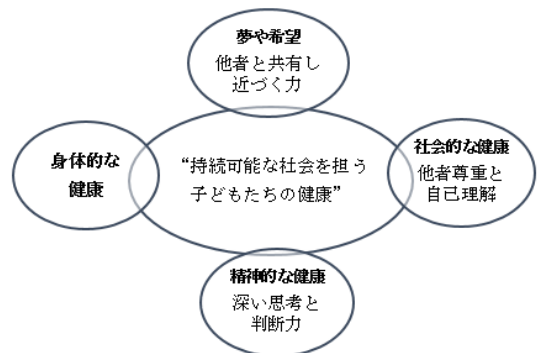
## [ネスレ日本ヘルシーキッズ賞について]



### ■ネスレ ヘルシーキッズ プログラム

本プログラムは、ネスレ日本株式会社が 2011 年度から取り組む、栄養と運動の組み合わせによって子どもたちの身体的、精神的、社会的な健康の育成を目的とした健康教育プログラムです。

7年目を迎えた本年度は、本プログラムが目指す“ヘルシーキッズ”が従来の“健康優良児”ではなく、“サステイナブルな社会づくりに貢献できる子ども”であると再確認し、「持続可能な社会を担う子どもたちの健康—夢や希望を持ち、他者と共有する力を育む」ことを目的に活動しています。

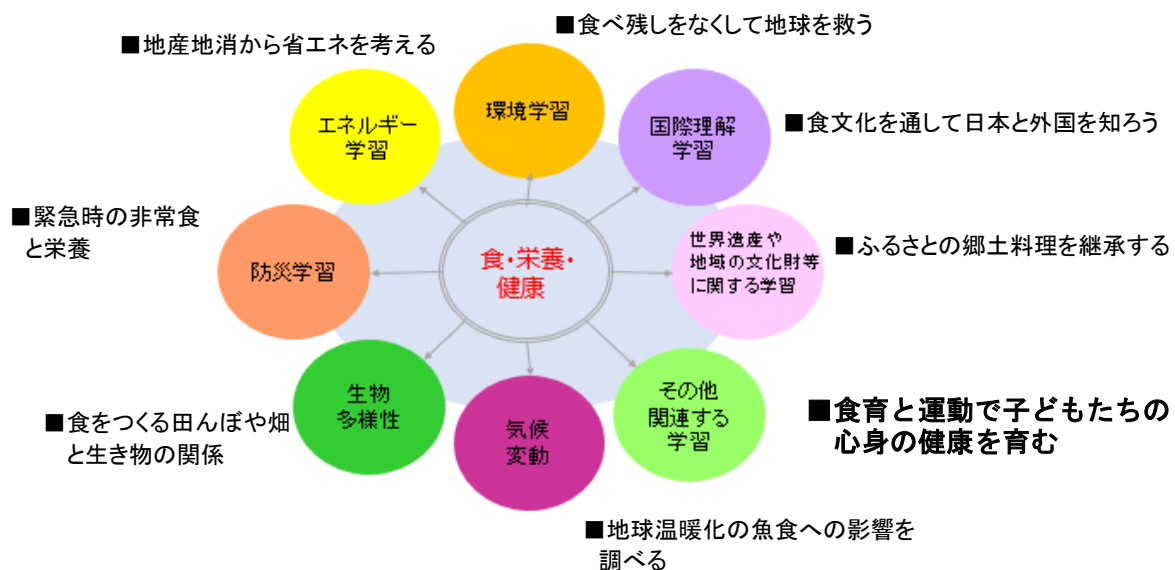


### ■本賞の目的

本賞は、ESD 大賞の枠組みのひとつとして、持続可能な社会の担い手となる子どもたちの健やかな心身の成長に寄与します。

「食」は、ESDに関連するさまざまな分野と密接なかかわりがあります。同時に「食・栄養・健康」そのものが、持続可能な社会を担う子どもの育成の観点の一つであると考えています。

### 《ESDの基本的な考え方+食・栄養・健康》



※本賞は、ネスレ日本株式会社の特別協賛により設定されています。

### ■審査のポイント

ネスレ日本ヘルシーキッズ賞では、“食育や栄養教育と運動の実践を通じて持続可能な社会を担う子どもたちの健康を育てる”実践研究事例の報告を募っております。1.の項目を必須とし、ほかの3点も含め総合的に優れた事例に対して賞を贈ります。(副賞 10万円)

1. 食育と運動を実践し、自分の成長や健康を考え、行動する。
2. 自らよく考え、思考し、判断する。
3. 他者を尊重し、自分の役割を理解する。
4. 未来像を予想・予測・期待し、それに近づくために行動する。